

ひまわり日記

No. 52

H29.7.3 船橋夏見特別支援学校
校長 小室 いづみ



6月28日(水)



本日は、本校の開かれた学校づくり委員会が行われました。地域の方にも学校に関心を持っていただき、より良い学校にしていこうといった集まりです。今年の委員会の新メンバーで元東葛飾高等学校長であり地元にお住いの鈴木様に今年の委員長になっていただきました。さらに交流学习を行っている旭中学校長、船橋啓明高校長、市立船橋高校長、兄弟校の県立船橋特支校長、船橋交通少年団長、地元夏見地区連合自治会長、校医の齋藤医師、そして本校PTA会長、皆様お出でくださり、授業や校内の様子を見てもらいました。頑張る生徒の様子にそれぞれ「良い学校ですね。」とお言葉をいただきました。1年間よろしく願いいたします。



* // // // // // * // // // // // * // // // // // *

6月29日(木)・30日(金)



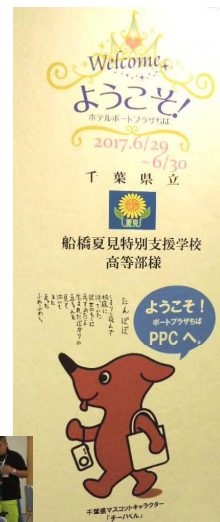
二日間、学校を留守にして東京オリンピックセンターで行われる全国特別支援学校長研究大会に出席してきました。新しい学習指導要領が発表され、これからの特別支援も含めた学校教育の方向性が示されました。これらを文部科学省の課長から指導・解説してもらう場でもあります。さらに二日目は障害種別に校長会が実施され、全国の動向や課題を学ぶ機会でもありました。学校へ持ち帰って先生方に伝えることが私の仕事となります。



一方、校内では高等部2年生が宿泊学習に出発しました。こちらは、井上教頭をお願いして写真を撮ってもらいました。ぐずついた天気にもかかわらず雨に降られなかったのは、本番に強い夏見の生徒たちですね…とは、井上教頭。学校からバスで出発し、千葉市へ。今晚の宿、ポートプラザではチーバ君のウェルカムポスターが出迎えてくれました。今年はNHKハート展に入選した本校のYさんの詩が印刷されていました。嬉しい心遣いですね。ポートプラザから2つのコースに分かれ、ヤクルトの工場見学と千葉市科学館「きぼーる」の見学です。工場での説明や工程見学、科学館での不思議な体験、皆の生き生きした笑顔がいっぱい写っていました。宿へ戻ってからは、夕食、



そして夜のお楽しみ！！先生の司会でゲームは大いに盛り上がったようです。



翌日30日は、成田空港です。外国に向けて飛び立つ飛行機を見て、空港ロビーにあるbay-FMのスタジオを見学しました。でも、それより凄かったのは、



ロビーで初対面の外国の人に話しかけ、会話したこと！男子生徒も女子生徒もそれぞれ元気を出して、話しかけたようです。外国の方の笑顔が良い出会いだったことを語ってくれています。ステキな体験でしたね。



予定よりやや遅れて、船橋駅で解散となりました。楽しい思い出が、また一つ増えました。



(2枚目へ続く)

* // * // * // *

7月1日(土) 本日はお休みの土曜日ですが、千葉市若葉区の植草学園短期大学へ出かけました。ここで行われる第一回千葉県特別支援学校ボッチャ大会に、本校高等部2年生が4人でチームを作って、出場するからです。初めての大会のため4校出場ですが、他校は2～3チームで参加のため、合計8つのチームで、優勝カップを争います。



朝10時から始まった開会式では、本校のI君が選手宣誓を行いました。彼は障害者スポーツ大会に続いて2回目でしたが、前回同様カッコ良く決めてくれました。女子大生も各チームの応援団として笑顔でエールを送ってくれました。心なしか男子生徒が嬉しそうでしたね。さて、試合ですが、本校は4つのチームで構成されるAリーグで全勝しました。ボッチャ競技の面白さで、ミラクルプレーも見られました。スロープや本校教員お手製の飛び道具も登場して、大歓声が上がりました。いよいよ、決勝です。ところが、相手は県立千葉特別支援学校高等部のボッチャ部！部活動でやっている強さには、かないませんでした。その結果、準優勝！！皆さん、よく頑張りましたね。皆のナイスプレーにとっても嬉しい一日でした。



* // * // * // *



7月3日(月) 本日は、中学校通級へ出向く本校の特別支援教育コーディネーターに同行しました。前は高等学校の教育相談でしたが、小・中学校では通級という形ですでに行われています。週に一度、通常の学校に在籍する肢体不自由のある生徒に個別に体をほぐす運動や体調管理のための指導を行い特別支援学校から教員が出向く「自立活動」という授業です。平成28年度本校が担当した中学校の通級指導は15名でした。今年も10人が受けています。



まずは、中学校の担任の先生と挨拶後、3階のエレベーターホール前に用意してきたマットを敷いて、臨時の教室作りです。その後、体調を確認しながら、車いすでのスラローム。電動式の車いすで校内を移動し、自分の前に立つ人に声をかけて通路を譲ってもらう練習をしていました。その後、車いすから降りて体のマッサージ、一緒に様子を見ていた校長先生が「気持ちよさそうですね。」とつぶやいていました。足の開閉や肩甲骨のほぐしをかなり丁寧に行い、それから座位で小ぶりのボールを足の間でつぶしたり、落としたりと力加減を行いました。ゴムバンドを両手で伸ばしたり縮めたりした後は、バランスボールに座ってのリズム運動、そのままボールを投げて教員とのキャッチボール…と小休止をはさみながら、続けました。その間、教員は常に声を掛け体調に無理がないように配慮をしながら進めます。最初は小さい声で「大丈夫」と言っていた彼は、ボール投げの頃には楽しそうに全力で投げていました。この間、約1時間。終了後、彼の支援員さんと担任の三人で次回の授業予定確認を行っていました。

